



雪が少なく厳しい寒さが続いた諏訪にもようやく春が! (30.3.2)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会い(であ)いの時間

▼たつた三日違うだけなのに二月という月が早く過ぎてしまつた感がいたします。▼とりわけ十七日間にわたりつての平昌オリンピックがあり、心と時間を奪われたせいでもあります。▼三月三日のおひなまつりが終わるとすぐ春のお彼岸がやってきます。季節も、万物が躍動し一斉に草木が芽吹きの時を迎え、一年の中でも一番よい気候となります。▼彼岸は普段忙しさに追われてみ教えと疎遠になつているものが、せめてこの最も気候のよい時に、仏さまの教えに出会つて仏縁を深めようと考えたのがお彼岸の行事であります。▼彼岸とは、私たちの住む苦しみ悩みの多いこの世を此岸といふのに対して、阿弥陀さまの清浄真実の世界をいいます。▼ですから彼岸法要とは阿弥陀如来さまの世界を思い真実の世界・彼岸に向かつての人生を考える法要であります。▼単にお墓に参り「ご先祖さま安らかに」という行事ではなく、真実の世界に向かつて生きられた先人に学ぶという行為でなければなりません。▼では、真実の世界に向かつての人生はどのように実現するのでしょうか。▼お釈迦さまは六つの道を教えてくださいました。それを六度の行と言います。阿弥陀さまのみ教えをよく守つて生活することです。「忍辱」とは真実に向かつて一つの道を休まず歩み続けることです。「禅定」とは乱れる心を静かに保つことです。「智慧」とは自分の感情や都合で物を見るのではなく、ありのままに物を見ることです。▼以上、六つの至難の行為を実践できない私に向けて、励まし呼んでくださる声が「南無阿弥陀仏」です。

小僧の日

釋
玄真

ご寺院行内事

- 3月21日(水) 春彼岸法要 前10:00
講師 日野宗邦先生(新潟県)
- 6月10日(日) 第7回早朝公開講座 前 7:00
講師 岡崎芳次先生(大阪府高槻市)
- 8月1日(水)~10日(金) 前 5:30
第39回早朝連続参拝

ご定例法話内会

- 4月20日(金) 講師 清胤 弘英先生(広島県)
- 5月20日(日) 講師 佐々木教幸先生(福井県)
- 6月20日(水) 講師 佐々木蓮乗先生(兵庫県)
- 7月20日(金) 講師 遠山 信敬先生(福井県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

身近な人を亡くされた三名の方から寄稿していただきました。西村様(九十四歳)は昨年九月ご主人を亡くされた後、直筆で思いを寄せてくださいました。紙面の都合で今号に掲載させていただきました。

夫との別れはとても悲しいものでした。

澤山の方々と出会い、そして別れ、幾度も繰り返し歩くのも容易でない老いの坂道となりました。

やさしい家族に大切にされ、そして見守られ、にぎやかに送つて頂いた事が何よりも幸せでした。

岡谷市 西村よし子

阿弥陀さまの許で大好きだった、囲碁、カラオケ等で過ごしてほしいと願つて居ります。

住職様にお会いできました事は私、最高の幸せだと思いますし、感謝で一杯です。

これから何かとお教え頂きたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

住職様との出会いを大切に、そして今生かされている自分を、家族と共に大切にしていきます。

かあちゃんありがとう!

岡谷市 塚崎順子

優しさと包容力のある笑顔で迎えていただきました。

平成二十一年にお世話人に、翌年教化委員に任命され、今日までお寺の行事等積極的に参加されています。これらをご縁に日曜礼拝にもできるだけ参拝することで、お参りの後の心のすがすがしさを味わい喜びを感じています。地域の役員を始め様々な大役を歴任していますが、お寺に関わることには利

修を受講されていますが、心穏やかになれる浄土真宗の法座に魅力を感じており、改めてもう一度受講したいと思っています。

当時は忙しくて受講できずについた中央教修への参加もお勧めしてお暇いました。

一門信徒投稿ひろばー

青色
青光

しょうしき
しょうこう

六十七回

スポーツ少年団に情熱を燃やして

松本 宣佳さん

岡谷市長地梨久保

害関係もなく大変心安らぐそうですが。

松本さんは間下区に生まれ、二十七歳で結婚後、翌年現在地に総合食品店「松屋ストア」を開業、拡げました。今は、毎朝五時に起床し、学校・保育園等の公共施設他に給食の食材を納めています。

子供達が大好きなこともあります。ご子息の子育て中に少年野球にわり、以来三十九年間に亘り、少年野球チームの保護者会長を皮切りに、市スポーツ少年団本部長、南信地区スポーツ少年団連絡協議会長等を歴任、スポーツ少年団認定員および認定育成員の資格を持っています。これらを縁に日曜礼拝にもできるだけ参拝することで、お年間子供達が好きだったからやつて来られたと話されました。

松本さんは明るく豪快な性格の持ち主ですが、取材中の表情などからも多くの方々に好かれているわけを知ることが出来ました。



松本さんは家庭を持ち、母はかわいい姉は家庭を持ち、母はかわいい孫やひ孫に恵まれ、喜びはひとしおでした。(三ページへ続く)

(滝川記)

それに対し、私は結婚も子供にも関心はありませんでした。

母は脳梗塞により認知症になりました。私は仕事から離れ、介護をしました。認知症が進むにつれ、私の時間は少なくなりストレスが溜りました。

しかし、介護の喜びもありました。母が認知症になつてから、話す言葉や仕草が可愛らしく、ときどき愛らしい表情も見せました。

人間は歳を取ると子供に戻り、最後は赤子のようになると聞きました。

私は母という子供の子育てをしますが、母がそうでした。

私は母には長生きしてほしいという気持ちでいっぱいでした。しかし母は風邪をこじらせ肺炎になりました。体は老化が進み、肺炎になりました。母にどれだけ癒されたかしません。母には長生きしてほしいという気持ちでいっぱいでした。

私は母といつぱいでした。しかし母は風邪をこじらせ肺炎になりました。母にどれだけ癒されたかしません。母には長生きしてほしいという気持ちでいっぱいでした。

私は母といつぱいでした。しかし母は風邪をこじらせ肺炎になりました。母にどれだけ癒されたかしません。母には長生きしてほしいという気持ちでいっぱいでした。

ばあちゃんへ！

岡谷市 横川 友洋

私のおばあちゃんは、いつでも元気で明るい人でした。そして、何よりもお風呂が好きでした。

私の仕事柄出張が多く、宿泊するホテルは大浴場があるところを、ついつい選んでしまいます。

ばあちゃんの孫だなあと、我なが

ら心の中で笑っていました。

歳を重ねるにつれ、足が悪くなつたり、体が悪くなつたりしてもお風呂に行く限りは、まだまだ長生きできるだろう、と安心していました。

最近は離れて暮らしていましたが、帰省する度、いつもの笑顔で迎えられて、元気をもらつていました。そんなばあちゃんが、ついに逝つてしましました。覚悟はしていました。そんなばあちゃんが、ついに逝つてしましました。覚悟はしていました。その後、三帰依文を唱え無事終わりました。

あなたの法名は、と渡された奉書紙に包まれた中に私の「法名」が書かれてありました。

【釋明海】です。御門主様から頂いたお淨土に往生してからの私の名前です。

浄土真宗の事は何も勉強してない私に、記念の品として「み教えと歩む」の冊子を下さいました。これからも日曜礼拝をはじめ、機会あるたびにお寺に参拝し、この本を座右に勉強してまいろうと思います。

—「門徒推進員」と「連研」—

門徒推進員とは、浄土真宗のみ教えを広めていく「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）を僧侶とともに推進していく方々です。連研とは門徒推進員養成連続研修会のことです。浄土真宗の基礎講座やおつとめの方や作法、話し合い法座を行い、み教えとともに歩む「私」を確認させていただく機会です。松本組でも開催していますので、関心のある方はお寺にお尋ねください。

トピックス

このほど本山の中央教修に、栗組連研を修了した北嶋裕子さん、岡正治さんが参加されました。次号に体験談を掲載いたします。

（西本願寺ホームページから引用）

—帰敬式について—

「帰敬式」とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒と

において帰敬式を受けられました。一文を寄稿していただきましたので紹介します。

帰敬式で法名をいただく

岡谷市 関野 逸子

ご住職から突然「帰敬式」受式を勧められ、山下さんと共に長野別院に参りました。けれども、わからぬままの参加でした。

別院では、御門主様の代行をされ方が本山からお見えになつており、本堂にて名前を呼ばれ、阿弥陀様の前に座りました。そして、「おかみそり」の儀式を受けました。その後、三帰依文を唱え無事終わりました。

あなたのお名前は、と渡された奉書紙に包まれた中に私の「法名」が書かれてありました。

【釋明海】です。御門主様から頂いたお淨土に往生してからの私の名前です。

しての自覚をあらたにし、お念佛申す日暮を送ることを誓う、私たちにとって最も大切な儀式です。

この帰敬式を受式され、仏弟子となつた方には本願寺住職（ご門さま）より法名が授与されます。帰敬式を受式し、共にお念佛を喜ぶ人生を歩みましょう。



(共催された作品展)



報恩講法要厳修！
淨土真宗の門徒にとって大切な
報恩講ですが、敬念寺では十一月
十二日に厳修されました。

春の彼岸・行事案内

彼岸とは、阿弥陀如来様のいる西方極楽浄土をさす言葉です。お彼岸には、親鸞さまに導かれて、阿弥陀様の浄土を願い、その「教えを聞く」(聞法)と受け止め、浄土往生したご先祖に感謝し、しのびたいものです。

- ・3月18日(日) 彼岸の入り
- ・3月20日(火) 定例法話会 後7:00
- ・3月21日(水) 春の彼岸法要(中日) 前10:00
講師 日野宗邦先生(新潟県福淨寺住職)
講題 「如來の慈悲に抱かれて」

*お彼岸中会館ロビーにて無人販賣があります。
*21日は終了後お茶の接待があります。

予告 第7回 敬念寺早朝公開講座

年一度お寺で抹香臭くない興味深いお話を聞きします。
大勢のみなさまの聴講を歓迎いたします。

- 日 時 6月10日(日) 前7:00~8:30
於：敬念寺本堂
講 師 岡崎芳次先生(大阪医科大学准教授)
講 題 「植物と水のつきあい
—藻類から学ぶ—」

門信徒会年次総会

—4月21日(土)午後6時から開催—

総会は地区世話人等の代議員制です。地区世話人を通じてご意見をお寄せ下さい。

日 時：平成30年4月21日(土)
午後6時開会
場 所：敬念寺本堂

- 議題**
1. 中・長期ビジョン検討状況報告
 2. 平成29年度事業・会計報告
 3. 平成30年度事業・予算案承認の件
 4. 役員改選の件
 5. その他

No.13 シリーズ

—故 中島賀雄様のお孫さん—
—住職さんといつしょ！



一周忌法要にて(30.1.27)
もえ香さん(8歳) 七彩さん(8歳)
凛空くん(5歳) 澄怜さん(3歳) あん納さん(2歳)



▲阿寺渓谷の美顔水



奈良井宿にて▶

トピックス！
十月二十七日婦人部の研修親睦旅行が行われ、秋の木曽路を日帰りで楽しみました。奈良井宿、定勝寺、阿寺渓谷をめぐり楽しい一日となりました。